



Handwritten Japanese text on a yellowed paper strip, written in cursive (sōsho) style. The text is arranged in vertical columns from right to left. The rightmost column begins with '大ノ人名撰出候也'.

② [書簡] (西部委員選出につき委員会来月4日開会案内)

明治26 (1893) 年3月31日

明治26年、伊勢崎織に紡績絹糸を使う森村熊蔵らが、玉糸を使用する伊勢崎織物業組合(下城彌一郎組合長)に反発し、伊勢崎改良織物組合を結成しました。この史料は、中村元雄県知事が両組合の対立を解消するために斡旋を試みようとしていることを新町の三俣素平と鶴見良憲に知らせた書簡です。伊勢崎織に紡績絹糸を使用することが組合対立の要因であることから、新町屑糸紡績所長であった鶴見が何らかの形で関わっていたと考えられます。

【史料②】

拜啓 西部委員

左の人名選出の届出

- 下城彌一郎
- 石原太七
- 石倉三男三
- 門倉京四郎
- 五十嵐安蔵

委員会は、来月四日

午前九時伊勢崎に相開き

候筈と只今郡長より申し出で候

右御通知および候間、東部

へ御申し向け置き下されたく、その他

諸般過日お話し仕り候迄

不都合これ無き様御斡旋

希み上げ候、□入候

三月三十一日

(中村)
元雄

三俣君

鶴見君

□□